

セミナー

バイオベースプラスチックの最先端を探る！—講演会&展示会—

主催 化学工学会関西支部
協賛 大阪工研協会、近畿化学協会、高分子学会関西支部、日本化学会近畿支部、日本生物工学会、日本材料学会関西支部

石化資源の消費抑制、地球環境対策としてバイオベースプラスチックへの関心が高まっています。バイオ原料の供給バランス、ライフサイクルでみた場合の地球環境への影響度、日常生活用品や工業用の材料としての可能性など興味は尽きないと思います。そこで、この分野の最前線でご活躍の先生方や実務に携わっておられる方をお招きして、この新素材の可能性、また製造技術や成型加工技術、今後の技術動向や普及のための課題などについてご講演いただきます。合わせてサンプルや技術開発事例なども展示、紹介していただき、作る側と使う側の現状の課題や普及のための情報交換の場にもしたいと思います。

日時 平成20年10月22日(水) 10:00~17:45
場所 大阪科学技術センター8階中ホール【講演会】、小ホール【展示会】
(大阪市西区靱本町1-8-4 電話 06-6443-5324)
<交通>地下鉄四つ橋線「本町」駅下車、北へ徒歩約7分、うつぼ公園北詰め

1. 【基調講演】バイオプラスチックをめぐる最近の動向 (10:00~11:00)

日本バイオプラスチック協会 顧問 猪股 勲氏

バイオプラスチック(生分解性プラスチックとバイオマスプラスチックの総称)は環境配慮型素材として、近年の地球温暖化防止の取り組みに対する関心の高まりに呼応し、市場から大きな注目を受け、積極的な取り組みが広く進められている。普及促進の活動を進める日本バイオプラスチック協会の活動と日本の商品の開発状況を、世界の動きとも併せて説明する。

2. バイオベースプラスチックの製造技術：ケモバイオプロセス (11:00~12:00)

京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科 教授・繊維科学センター長 木村 良晴氏

バイオベースプラスチックとして開発が進められているポリ乳酸、ポリコハク酸ブチレン、ポリ-3-ヒドロキシ酪酸の製造法と構造-物性相関について概括するとともに将来技術の予測をしてみたい。

3. 展示(商品やポスターパネル等の紹介) (12:00~14:00)

展示機関：大阪市立工業研究所、産業技術総合研究所、バイオベース(株)、(株)東レ、(株)三菱化学科学技術研究センター、帝人(株)、ユニチカ(株)、(株)カネカ、東洋紡績(株)、三菱樹脂(株)、東セロ(株)、日本バイオプラスチック協会

4. 製造技術開発事例や適用事例と今後の展開

(1) 耐熱性バイオプラスチック「バイオフロント®」の開発 (14:00~14:50)

帝人(株)新事業開発グループHBM推進班 主任研究員 豊原 清綱氏

ステレオコンプレックス型ポリ乳酸をベースとする耐熱性バイオプラスチック「バイオフロント®」の特徴、アプリケーションについて説明する。

(2) 耐熱性付与、発泡特性付与で広がるポリ乳酸の応用範囲 (14:50~15:40)

ユニチカ(株)中央研究所開発2グループ グループ長 上田 一恵氏

バイオプラスチックの代表ともいえるポリ乳酸は、工業規模での生産、採用が進みつつあるが、さらに応用範囲を広げるには、耐熱性や発泡特性付与などの機能性付与が不可欠である。演者らは、ポリ乳酸へこれらの機能を付与する技術を確立し、応用範囲を拡大してきたので、その背景とともに技術内容について紹介する。

(3) 澱粉系バイオポリマー・マタービーの適用例と今後の展開 (15:40~16:30)

ケミテック(株) 代表取締役 星野 修氏

マタービーはノバモント社が開発した欧米で最も使用実績のあるバイオプラスチックで、需要の拡大に対応するため従来の澱粉系に加え、植物油からポリエステルを自製してマタービーの年産能力を今年末に5万トンに倍増する。マタービーの適用例を紹介しながらここまで需要を拡大して来た背景を説明する。

5. ミキサー (16:30~17:45)

*講師・聴講者でアフターディスカッションを行いますので、お時間の許す限りご参加ください。

参加費 主催・協賛団体個人会員 15,000円、主催・協賛団体法人会員 18,000円、会員外 23,000円、大学・官公庁 5,000円、学生 3,000円、会員外学生 4,000円(何れもテキスト代、消費税含)
***会員外の方へ** 化学工学会個人会員に入会されると19,000円([参加費:15,000円]+[年会費(10月~翌年2月)4,000円])でのご参加になります。詳しくは下記にお問い合わせ下さい。
定員 100名(定員になり第締切)
参加申込方法 下記用紙に必要事項を明記のうえお申し込み下さい。参加費の送金は現金書留または銀行振込(りそな銀行御堂筋支店普通預金 No.0405228「社団法人化学工学会関西支部」名義)をご利用下さい。参加者には参加証を送付いたします。(10月上旬)
申込先 〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4(大阪科学技術センター6F)
(社)化学工学会関西支部
TEL: 06-6441-5531/FAX: 06-6443-6685/E-mail: apply@kansai-scej.org

セミナー「バイオベースプラスチックの最先端を探る！—講演&展示会」(H20)

氏名		会員資格	
勤務先		所属	
連絡先	〒 TEL E-mail	FAX	
ミキサー	参加()	不参加()	
送金内容	参加費_____円/銀行振込()・現金書留()	月	日送金(予定)